

いまは健康づくり

～ ウイルス性肝炎検査について ～

第10号 平成25年3月
老岐保健所地域・職域連携
推進協議会

ウイルス性肝炎の検査について



あなたは、

肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか？



・ はい

・ いいえ

・ わからない

「いいえ」、「わからない」を選んだ方は、是非この機会に肝炎ウイルス検査を受けましょう！



早期発見、早期治療！

～ウイルス性肝炎とは？～

ウイルス性肝炎とは、肝炎ウイルスに感染して肝臓の細胞が壊れていく病気です。この病気になると、徐々に肝臓の機能が失われていき、ついには肝硬変や肝がんに至ることもあります。B型及びC型肝炎ウイルスの患者・感染者は、合わせて300万人を超していると推定され、国内最大級の感染症とも言われています。

～肝臓のニックネームは“沈黙の臓器”～

肝炎になっても、肝臓はなかなかSOSを出しません。「体がだるい」と気付くころには、かなりの重症になってしまっています。でも大丈夫。肝炎ウイルスは、**検査**で分かります！肝炎ウイルスに感染していても、適切な健康管理・治療で、肝炎から肝硬変や肝がんが悪化するのを予防することが可能です。

*肝炎のほとんどは、肝炎ウイルスによって起こる「ウイルス性肝炎」です。

ウイルス性肝炎 Q & A



Q1. 肝炎の検査を受けるには？

【どんな検査？】

肝炎ウイルスに感染しているかどうかは、採血検査で判断します。
採血だけなので短時間で済み、また、数週間で検査結果をお知らせできます。
※感染後は3ヶ月ほどたたないと、陽性にならないこともあります。

【どこで受けられるの？】

検査を受診する機会は、以下のようなものがあります。

- ・お住まいの地域の保健所での検査（彦岐保健所 47-0260）* 無料
 - ・県内の検査委託医療機関（彦岐市内 12か所^{H25.2月現在}）* 無料
 - ・お住まいの市町村での検診（彦岐市役所 健康保健課芦辺庁舎 45-1111）
→40歳の方のみ市役所から無料受診券が送付されます。
- * 具体的な実施日程や費用などは、それぞれの実施主体によって異なりますので、別途お問い合わせください。

Q2. 感染が分かったら？

肝炎ウイルスに感染していたとしても、肝臓の状態は人によってまちまちです。まずは、専門医に相談してみましょう。

＜主な治療方法について＞

- インターフェロンは、免疫系・炎症の調節等に作用して効果を発揮する薬剤で、ウイルス性肝炎を根治することができるものです。
- B型肝炎の場合は約3割、C型肝炎の場合は約5～9割の人が治療効果を期待できます。
- 核酸アナログ製剤は、B型肝炎ウイルスのDNA合成を阻害する作用がある薬剤で、ウイルスの増殖抑制の効果があります。

※ 治療効果は、遺伝子型、ウイルス量などによって異なります。

Q3. 医療費助成制度とは？

国と都道府県では、肝炎の有力な治療法であるインターフェロン治療や核酸アナログ製剤治療に係る医療費について、あなたの負担額を軽減する助成を行っています。助成の対象となるのは

B型又はC型肝炎のインターフェロン治療及び

B型肝炎の核酸アナログ製剤治療 です。

あなたの世帯の所得に応じて、月当たりの医療費を軽減します。
詳しくは、都道府県又はお近くの保健所にお問い合わせください。